

**令和元年度 特定非営利活動法人そよかぜねっと
やすらぎ工房 事業報告**

1. 理事会・通常総会開催

- (1) 第1回理事会 (5/14) 令和元年収支予算案・グループホーム検討事案経過報告・監事監査・通常総会について
- (2) 第2回理事会 (6/19) 他事業所グループホーム見学報告・物件見学報告・グループホーム方向性の確認
- (3) 第3回理事会 (11/14) グループホーム運営に向けての経過報告・職員の人事・処遇改善加算 I 取得について・理事の会議日当について
- (4) 第4回理事会 (3/2) グループホーム運営に向けての経過報告・職員の人事・処遇改善加算、職員昇給制について・非常勤就業規則について
- (4) 通常総会 (6/19) 平成30年度事業・会計報告、監査報告、令和1年度事業計画報告

2. 運営状況

(1) 利用者数

①就労継続支援 B 型

1日平均利用者数： 16.4 人 (30年度：18.0人)

利用者延人数： 4,055人 (30年度：4,505人)

②就労定着支援 (平成30年11月事業開始)

契約者：4名 (7月末1名、12月末1名、3月末1名契約終了)

利用延人数：60名

(2) 開所日数

247日 (30年度：250日)

(3) 就労をめざすための場づくり

・施設内作業

自動車部品の組み立て・検品、紙袋の底入れ・袋詰め・シール貼り、換気扇組み立て・検品・梱包、梱包資材の組み立て、輸出用刃物の検品・梱包、ホームセンター出荷用草刈り製品の組立・梱包、リサイクル等7～8種類の作業を施設内で行った。

・施設外作業

ワークルーム虹 (庁舎内事務軽作業)・サクセス (衣類の選別)・東光機材 (簡易な部品の組み立て・梱包)・ピップ物流 (ドラックストア出荷用荷物の箱詰め) の4か所で施設外作業を行った。

なお、サクセスは、出荷製品の減少のため令和2年3月末をもって施設外作業を終了。

・工賃実績

平均工賃：13,257円/月 11,520円 (30年度) 11,479 (29年度)

・就労希望者への支援

① 清掃業務

【就 労】会計年度任用職員

・30代男性 1名 / 6月10日より就労（現在継続就労中）

※職業指導員が月1回定期的に就労者を訪問。企業側からの電話、訪問での相談にも対応。

(4) 安心して過ごすための場づくり

① いつでも相談が受けられる体制

メンバーの方からの個々の相談には原則、開所時間内であればいつでも受けられるようにした。

また、個々の職員が受けた相談事項は職員全体で対応の方向性を話し合った。

② 居場所としてくつろぐための環境整備

男性トイレの個室を増設し、待機者の軽減を図った。

③ 生活リズム、日中活動力の活性化を促す

1年を通し、希望者を募り月に1回3～4名程度のグループを作り、テーマを決めて気候の良い季節はお弁当を作り、外出、それ以外の季節はスタミナ料理や、簡単に作る事ができるものを中心に、自宅以外での調理の機会を活かし自宅での食事の幅を広げることが目指した。また、調理実習の時間を活用し、毛布やカーテンを洗濯するなどを通し洗濯機の使い方、洗ったものの干し方、片づけ方なども身近なことからの挑戦を前年度に引き続き継続して挑戦していった。週2回の掃除でも、マニュアルをすべての掃除箇所に準備し、手順を確認することでわかりやすく安心して行動できることを目指した。

④ 高齢期の利用者への年齢に合わせた対応、新たな環境の提案

体力、活動の様子などを含めて検討し、施設の外での活動を段階的に縮小、終了し、負担の軽減をおこなった。また、65歳が近づいた段階で計画相談事業所も交え介護保険への移行も含めて話し合いの機会を持った。

(5) 主体的に活動できる場づくり～社会参加の一環～

① 土曜日開所の継続実施

地域行事を含め年間 87名(月平均9名)が参加。少し遠出の外出や近場での外食、作業所内でゆっくりとレクリエーションなど、平日にはできないことを、1年を通して実施。

②地域行事への参加

青山夏祭り・文化祭、緑が丘文化祭、はばたき祭りに参加。毎年恒例の行事に参加する中でメンバーさんの作業所以外の人とのコミュニケーションの機会のもなった。

(6) 地域への啓発活動

① 「そよかぜねっと通信」の発行・配布

本年度は年1回（11月）発行。精神障がい者の医療・福祉をめぐる情勢を伝えるとともに、精神障がい者への理解・啓発に努めた。（4/20発行の第22号は3月予定のもの）

② 「やすらぎニュース」の発行・配布

本年度は年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）発行。やすらぎ工房を利用しているメンバーと職員が共同で巻頭のテーマを決め、事業所での様子やプライベートの様子、好きなものなどを掲載し、活動しているメンバーの様子の発信を行った。

④ ホームページの運用

定期的な更新を継続して行った。また、ホームページを参照した企業より内職の依頼が入るなどの力となっている。

(7) 支援のための体制づくり

① 職員体制の確立及び充実

ア) 職員の配置状況（3/31現在）

管理者兼サービス管理責任者	1名（兼務）
職業指導員	1名
目標工賃達成指導員	1名
生活支援員	3名
事務員	1名

イ) 異動状況

退職：目標工賃達成指導員1名（12/25付）

採用：生活支援員1名（3/2付）

② 職員研修報告

研修内容	主催者	人数
障害福祉セミナー「障害者差別解消法と私たちの生活」	三木市	2
障害者虐待対応力向上研修	一般社団法人兵庫県社会福祉士会	1
リカバリーを旨とした就労支援	兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会・兵庫県精神保健福祉センター	1
令和元年度サービス管理責任者等研修	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	1
ひょうかれん創立50周年記念大会	みんなねっと ひょうかれん 神戸市	4
しごとフェスタ	三木市地域自立支援協議会	3
令和元年度 人権フォーラム	三木市立総合隣保館	1
第2回障害者就労工賃向上セミナー	公益財団法人神戸やまぶき財団	1
こころの病家族教室	(公社)兵庫県精神福祉家族会連合会・加西家族会はとの会	1

精神障害者等の就労パスポートの普及に係るワークショップ	西神公共職業安定所	1
障害者就労の明るい未来をめぐって	兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク・兵庫県リハビリテーション協議会	1
対人援助職の為に地連検討サロン	関西国際大学	1

(8) ボランティアの受け入れ

やすらぎ工房内の作業・各種行事支援の為に、延べ 130 人のボランティアを受け入れ。

3. 共同生活援助事業の開業準備

共同生活援助・グループホーム事業開始（令和 2 年 5 月予定）に向け、次の投資、費用を支出した。

土地・建物	25,800 千円
建物什器備品（消防設備含）	5,026 千円
外構フェンス工事	1,435 千円
リビングエアコン他家電製品等	608 千円
【資産計上】	32,869 千円

個室エアコン<6>他家電製品 寝具等家庭用品他	1,734 千円
仲介手数料、税金等	837 千円
減価償却費	1,587 千円
【費用計上】	4,158 千円

4. 助成金収受

- ・公益財団法人神戸やまぶき財団より男子トイレ改修助成金 400 千円を収受（元年 10 月）
男子トイレの個室増設を行った。（令和 2 年 3 月）
- ・公益財団法人神戸やまぶき財団よりグループホーム設置備品購入助成金 1600 千円を収受
（元年 3 月）
- ・公益財団法人神戸やまぶき財団より、平成 30 年度に収受していた車両購入助成金を原資にして、4 月に日産セレナを購入したので、助成金収入 2,240 千円を計上した。

5. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所「やすらぎ工房」の運営	月～金 9:00～ 17:00	法人施設	8名	三木市及び周辺地域で在宅生活をする精神障がい者等 延べ 4,055人	46,188
	就労定着支援事業の運営	月～金 15:00～ 17:00	法人施設 契約者宅 企業	3名	就労定着支援を利用する対象者及び就労先企業の担当者 延べ 7人	
精神保健福祉等に関する啓発事業	法人機関紙並びに広報誌の発行	年6回	法人施設	10名	地域住民及び市民、関係機関 延べ 1,000人	
精神障がい者等と地域住民との交流事業	バザー・地域イベントへの参加	年6回	法人施設 地域	30名	地域で生活する精神障害者等 延べ 300人	